

平成29年度 大宮区対話集会開催概要（12月）

No.	「質問・要望・提案」の内容	「回答・見解・処理方針」の内容
1	<p>【大宮区役所建て替えについて】</p> <p>・事業実施体制の中で、大宮クロスポイント(株)という会社を設立する根拠を教えてください。また、どなたが会社の代表か。</p>	<p>・PFI事業ということで進めており、PFI事業を進めるにあたってのガイドラインが国の方から制定されています。事業の独立性と継続した安定性を確保するために、SPCと言われる特別目的会社を設立して、事業を進めていくとガイドラインにあります。それに則った形で会社を新たに設立して進める事業になっています。会社については、大成建設(株)をはじめとした8社で出資して新たに設立したもので、代表者としては、大成建設(株)が代表企業として会社を設立している形になっています。【市民局区政推進部大宮区役所新庁舎建設準備室】</p>
2	<p>【大宮区役所建て替えについて】</p> <p>・外壁について、絹糸スクリーンはどのような材質になっているか。また、スクリーンや窓ガラスについて、どのような清掃、維持管理がなされるのか。</p>	<p>・絹糸スクリーンについては、鉄系のものを使い、その上に耐候性の高い吹付材を使用しており、メンテナンスフリーと大成建設(株)から聞いています。外壁のメンテナンスについては、絹糸スクリーンとガラスの間に空間があり、人が入れるようになっているため、そこから清掃、維持、メンテナンスを行っていく計画となっています。【市民局区政推進部大宮区役所新庁舎建設準備室】</p>
3	<p>【大宮区役所建て替えについて】</p> <p>・BCP計画について、通常、災害時の避難場所は3日間機能を維持するBCP対策となっているが、この施設は災害があった場合、拠点として受け入れる場所になっているのか。なっていない場合には、何人ぐらい受け入れをする想定となっているか。</p>	<p>・現在、高鼻町にある大宮図書館が一時滞在施設になっており、220名程の方を受け入れる施設となっています。本施設についても、同等数以上の方が入れるような計画としています。現状、1階部分のフリースペースが250㎡あり、展示室やワークショップルームを足すと400～500㎡あり、2階にも会議室があるので、対応はできます。【市民局区政推進部大宮区役所新庁舎建設準備室】</p>
4	<p>【大宮区役所建て替えについて】</p> <p>・建物の断面図の説明で、北が下側、南が下側となる2種類の書き方がある。図面の書き方を統一しないと、ミスの原因になりかねない。事業主体の区役所のどの部門でこれを監査するのか。建設準備室は建設が始まった後も続くのか、また、建設中は別の組織になるのか。</p> <p>・これから建設を行う上で、建設中のミスとかが今のようなことで起こりやすくなる。それを避けるためにクオリティバランをどこの組織が行うのか。</p>	<p>・本来、北を上を書くのはあたりまえのことですので、そのように進めてきましたが、北側から望むのが一番のメインのパスというところで、配置図だけ一部逆転するような形になってしまいました。【市民局区政推進部大宮区役所新庁舎建設準備室】</p> <p>・一番には、施工者側の管理が必要ということで、大成建設(株)あるいは(株)久米設計の自主管理があり、その上で、第三者にモニタリング業務を発注させていただき、その中で支援をいただきながら、最終的には市の方で確認させていただきます。【市民局区政推進部大宮区役所新庁舎建設準備室】</p>
5	<p>・大門町1丁目の今後の計画の予定があれば教えてください。</p>	<p>・1丁目の方でもまちづくりをやっており、大宮駅グランドセントラルステーション化構想ということで、地元の方々と市、JR等と協力しながら、まちづくりの絵を一生懸命作っているところです。これについては、東日本交流拠点整備課が担当しており、状況については出前講座で報告しています。【都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所】</p>
6	<p>【大門町2丁目中地区市街地再開発事業について】</p> <p>・大宮駅東口では「アートフルゆめまつり」をやっており、今年で10回目を迎えた。大宮に降りたら音楽が流れているようなまちにしたいと思ってやってきた。今回の再開発計画図の1階の辻広場は訪れる方々へのおもてなしの広場、各種イベントの開催と書いてあり、舞台と音響施設があつて常に演奏できる場所があつたら良いと思う。再開発事業でもそういう場所があるのか教えていただきたい。</p>	<p>・辻広場の大きさは横15m、奥行きが40m弱、500㎡ぐらいになっています。まちづくりを考えた時に、駅が賑わっていても表に出ると何もなく、おもてなし広場ということで、駅の前置きみたいなものを作れば、氷川神社や新都心の方に行く中継地点にできるため、一つの名物的な形を作ろうということで考えています。</p> <p>・どういう形で運営していくのかということも、再開発組合の方で議論していますので、自治会の声をお届けして、「アートフルゆめまつり」等の会場にできればと考えています。【都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所】</p>
7	<p>【大門町2丁目中地区市街地再開発事業について】</p> <p>・公共施設大ホール使用時の交通の関係が心配である。駐車場は何台くらい予定しているか。また、災害時の防災関係が一番心配である。防災関係はどうなっているか。また、資金面について、総事業費が620億円となる。公共施設は81,000㎡のうち15,300㎡にもかかわらず、市が7割以上負担する。何にお金がかかるのか。</p>	<p>・駐車場はおよそ300台を地下に誘導する形で計画しています。駐車場等の交通関係については、大宮警察署や駐車場の管理会社の方々と話をしながら、しっかりと渋滞を招かないようにしていきます。防災については、2,000人くらいの帰宅困難者が滞在できるよう、防災面も考慮して一時滞在施設として活用できるような形で計画しています。</p> <p>・また、市費が高いという話については、市民ホールは特殊建築物ということで割高になります。他の地区の事例を調べると、他も高いかもしれませんが、大体比較できる事業費となっています。ここで造るホールの中には、内装、舞台照明、舞台設備等も込みとなっており、結果的に高くなっています。</p>

平成29年度 大宮区対話集会開催概要（12月）

No.	「質問・要望・提案」の内容	「回答・見解・処理方針」の内容
8	<p>【大門町2丁目中地区市街地再開発事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮駅周辺の渋滞の状況はここ40年変わっていない。 <p>もっと広いエリアでどのような交通の流れを誘導していくのかというのがあって、個々の建物の周辺をどうしようかということを考えないといけないと思うが、その辺はどうなっているか。</p>	<p>・駅前の再開発も交通をなんとかしなければということで、大宮駅東口まちづくり事務所、東日本交流拠点整備課でやっています。色々な案がでており、現実的にしなくてはいけないという時期がきています。案を出すにしても、市だけでは出せませんので、地元の方々と一緒になってまちづくりを研究している状況です。事業という形になれば、別な機会を通じて発表させていただきます。今はそういう形でなんとか交通渋滞をさばけないかと、少しずつ交通渋滞に対応しているというのが現実的なところで、【都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所】</p>